

令和 2 年度

宝塚市病院事業会計補正予算書

(2)

宝 塚 市 立 病 院

令和2年度宝塚市病院事業会計補正予算（第2号）

（総則）

第1条 令和2年度宝塚市病院事業会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第2条 令和2年度宝塚市病院事業会計予算（以下「予算」という。）に定めた事業の予定量を次のとおり補正する。

		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
（4）	主要な建設改良事業 固定資産購入	335,796 千円	5,186 千円	340,982 千円

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

	（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収入			
第1款	資本的収入	1,235,694 千円	5,186 千円	1,240,880 千円
第6項	補助金	0 千円	5,186 千円	5,186 千円
	支出			
第1款	資本的支出	1,933,289 千円	5,186 千円	1,938,475 千円
第1項	建設改良費	561,796 千円	5,186 千円	566,982 千円

（他会計からの補助金の補正）

第4条 予算第9条中 1,428,961 千円を 1,434,147 千円に改める。

令和2年（2020年）6月26日提出

宝塚市長 中川 智子

補正予算に関する説明書

(2)

令和2年度宝塚市病院事業会計補正予算実施計画

資本的収入及び支出

収入

(千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的			1,235,694	5,186	1,240,880	
収入	6 補助金		0	5,186	5,186	
		1 他会計補助金	0	5,186	5,186	

支出

(千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資本的			1,933,289	5,186	1,938,475	
支出	1 建設改良費		561,796	5,186	566,982	
		2 固定資産購入費	335,796	5,186	340,982	

令和2年度宝塚市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	△ 2,485,030
人件費支出	△ 6,766,381
医業収入	11,871,172
負担金、補助金等収入	979,528
国庫補助金等による収入	16,159
その他業務収入	734,386
その他業務支出	△ 4,356,064
小計	△ 6,230
利息の受取額	1
利息の支払額	△ 70,501
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 76,730
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 88,800
一般会計からの繰入金による収入	454,619
寄付による収入	35,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	401,617
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	1,200,000
一時借入金の返済による支出	△ 1,500,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	503,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 821,493
その他の他会計借入金による収入	550,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△ 550,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 617,893
資金増加額	△ 293,007
資金期首残高	475,777
資金期末残高	182,770

【注記事項】

1 資金の範囲

資金期末残高と貸借対照表に掲記されている現金預金は一致している。

令和2年度宝塚市病院事業予定貸借対照表

(令和3年3月31日)

(単位：千円)

		資	産	の	部	
1	固定資産					
(1)	有形固定資産					
	ア 土地					4,118,742
	イ 建物		16,975,261			
	ウ 構築物		<u>△ 11,120,833</u>			5,854,428
	エ 機械備品		217,655			
	オ 車両		<u>△ 186,627</u>			31,028
	カ リース資産		6,395,568			
	キ その他有形固定資産		<u>△ 4,733,605</u>			1,661,963
			20,506			
			<u>△ 19,482</u>			1,024
			38,559			
			<u>△ 36,631</u>			1,928
						<u>23,460</u>
	有形固定資産合計					11,692,573
(2)	無形固定資産					
	ア 電話加入権					1,488
	イ その他無形固定資産					<u>568</u>
	無形固定資産合計					2,056
(3)	投資その他の資産					
	ア 長期未収金					1,654,157
	イ 敷金					10,000
	ウ 長期前払消費税					<u>191,133</u>
	投資合計					<u>1,855,290</u>
	固定資産合計					<u>13,549,919</u>
2	流動資産					
(1)	現金預金					182,770
(2)	未収金					1,650,211
	貸倒引当金					<u>1,490</u>
						1,648,721
(3)	貯蔵品					92,121
(4)	前払金					<u>3,628</u>
	流動資産合計					<u>1,927,240</u>
	資産合計					<u>15,477,159</u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債		
	(1) 企 業 債		
	ア建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,211,236	
	(2) 他 会 計 借 入 金		
	アその他の長期借入金	<u>1,710,000</u>	
	固 定 負 債 合 計		7,921,236
4	流 動 負 債		
	(1) 一 時 借 入 金	1,200,000	
	(2) 企 業 債		
	ア建設改良費等の財源に 充てるための企業債	767,234	
	(3) 他 会 計 借 入 金		
	アその他の長期借入金	250,000	
	(3) 未 払 金	966,617	
	(4) 預 り 金	39,656	
	(5) 前 受 金	14,334	
	(6) 引 当 金		
	ア賞 与 引 当 金	402,841	
	イ法定福利費引当金	<u>74,870</u>	
	引 当 金 合 計	477,711	
	流 動 負 債 合 計		<u>3,715,552</u>
5	繰 延 収 益		
	(1) 長 期 前 受 金	998,518	
	(2) 収 益 化 累 計 額	<u>△ 753,392</u>	
	繰 延 収 益 合 計		245,126
	負 債 合 計		11,881,914
	資 本 の 部		
6	資 本 金		2,816,580
7	剰 余 金		
	(1) 資 本 剰 余 金		
	ア 受 贈 財 産 評 価 額	17,460	
	イ 他 会 計 負 担 金	525,284	
	資 本 剰 余 金 合 計		542,744
	(2) 利 益 剰 余 金		
	ア 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	<u>235,921</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>235,921</u>
	剰 余 金 合 計		<u>778,665</u>
	資 本 合 計		<u>3,595,245</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>15,477,159</u>

【注記事項】

I 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸の方法及び評価基準

貯蔵品……先入先出法による低価法によっている。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用。

なお、主な耐用年数は次のとおり。

建物本体 39年

給排水設備 15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用。

なお、主な耐用年数は次のとおり。

水道分担金 20年

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

3. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当該事業年度末における職員に対する退職手当の要支給額から、兵庫県市町村職員退職手当組合における積立金相当額を控除した金額を計上している。

(3) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金の計上に伴い必要となる法定福利費見込額を計上している。

4. その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、7年間で均等償却を行っている。

II 減損損失

1. グループニングの方法

病院事業に使用している固定資産は、そのすべてが一体となってキャッシュフローを形成していることから、病院全体を1つの資産グループとしている。

補正予算に関する資料

(2)

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(千円)

款・項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資 本 的 収 入			1,235,694	5,186	1,240,880	
6 補 助 金			0	5,186	5,186	
	1 他 会 計 補 助 金		0	5,186	5,186	
		一般会計補助金		0	5,186	5,186

支 出

(千円)

款・項	目	節	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 資 本 的 支 出			1,933,289	5,186	1,938,475	
2 建 設 改 良 費			561,796	5,186	566,982	
	1 固 定 資 産 購 入 費		335,796	5,186	340,982	
		器 械 備 品 費		335,796	5,186	340,982

